

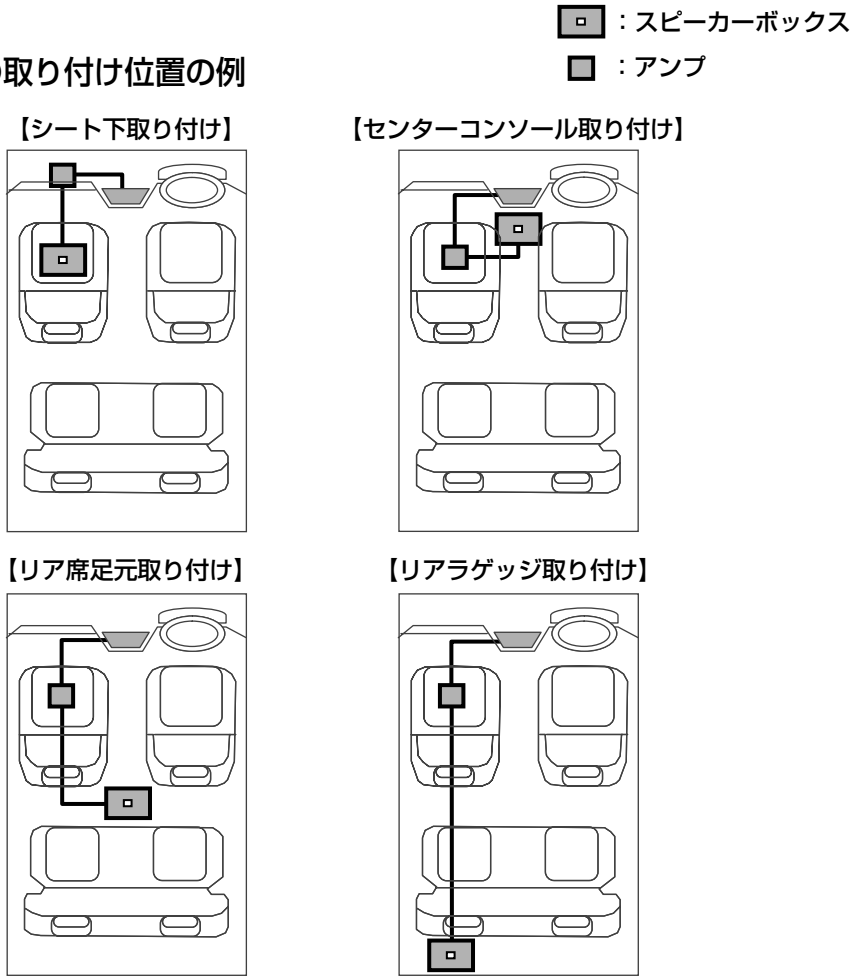
1. 取り付ける

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。

1 車を安全で平坦場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分が確認する。

2 取り付ける。

●取り付け位置の例



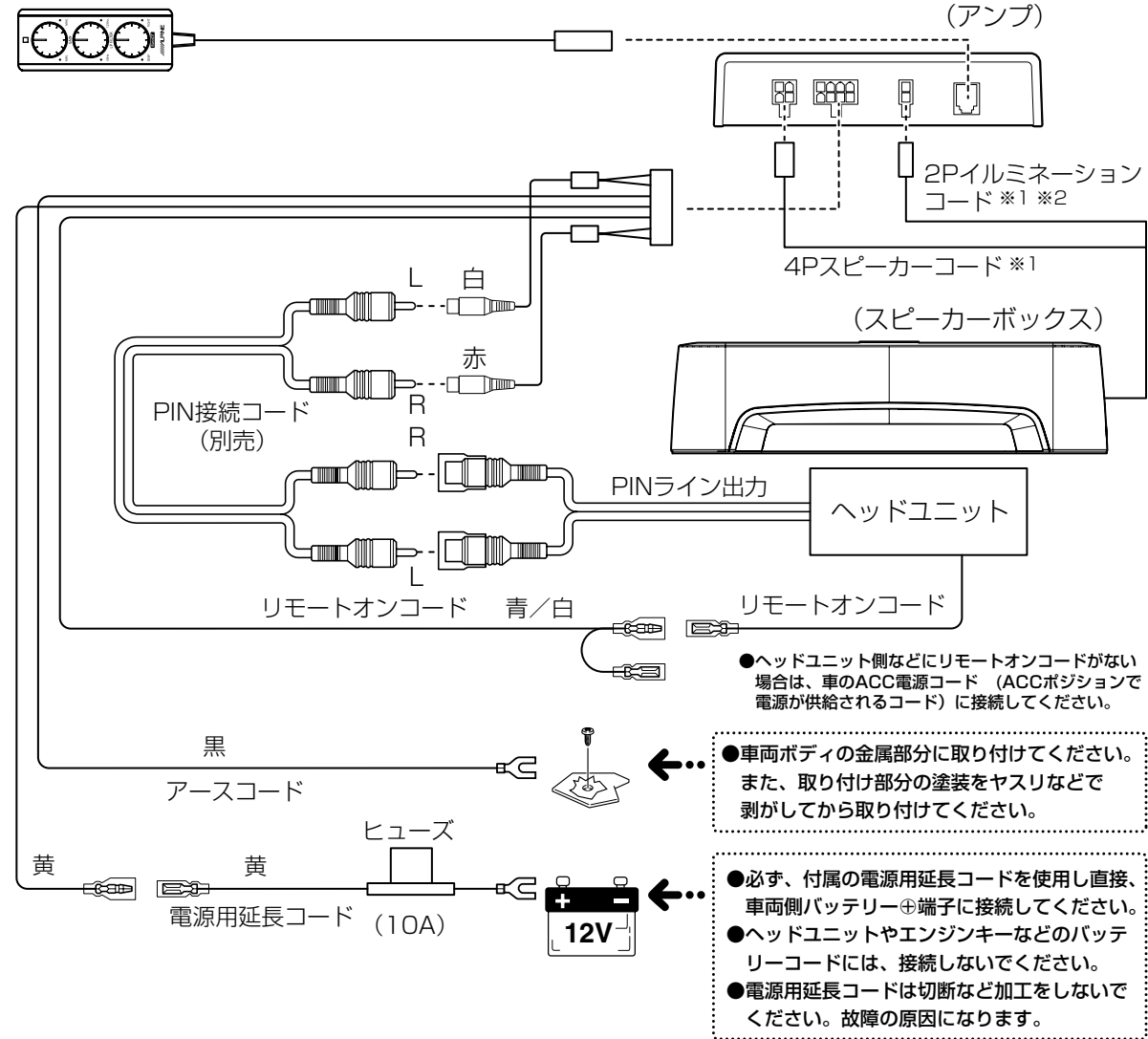
2. 接続する

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続前に接続先をチェックしてください。

1 バッテリーの端子を外す。

2 接続する。

●PIN入力接続の場合



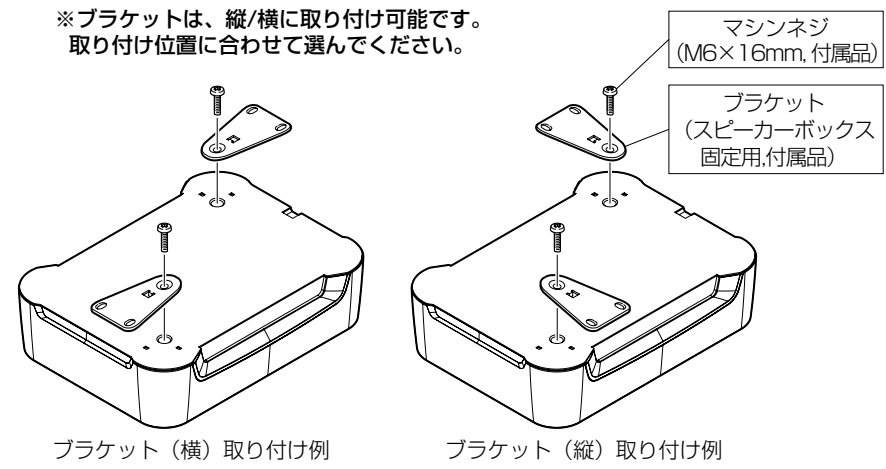
警告

- 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。
- 製品本体を固定する場合、必ず付属ブラケット、付属ネジを使用してください。
- アクセル・ブレーキペダルの運転操作を妨げる場所には取り付けない。

●取り付け方法

① 車への取り付け場所を決めます。

② マシンネジでブラケットをスピーカーボックスに取り付けます。

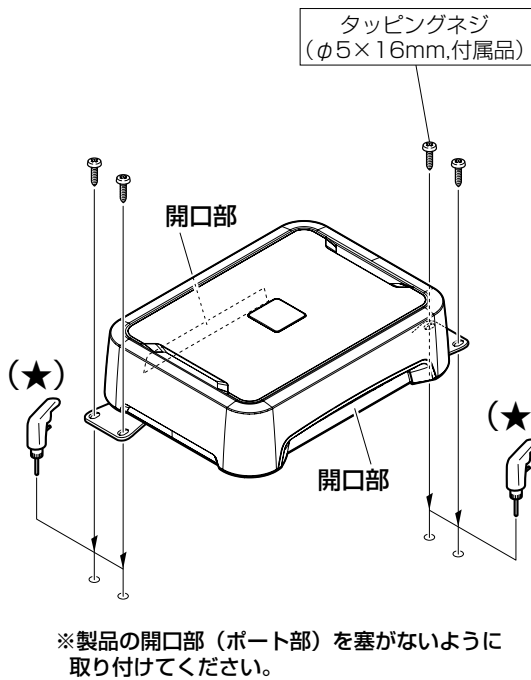


③ 車への取り付けネジ位置に印をつけます。

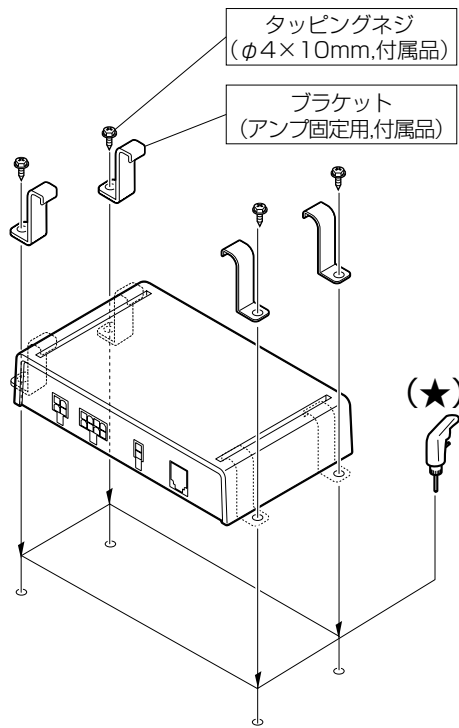
④ ドリルで固定用ネジの下穴 (★) を開けます。
スピーカーボックス固定用ネジの場合.....φ 3.5mm
アンプ固定用ネジの場合.....φ 2.5mm

⑤ 付属ブラケットと付属タッピングネジを使用し車に固定します。

《スピーカーボックスの取り付け方》

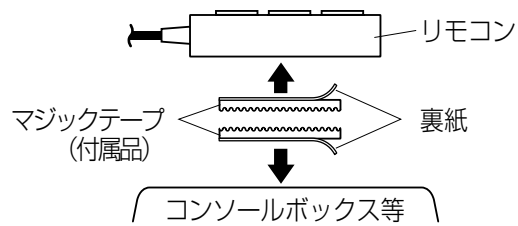


《アンプの取り付け方》



リモコンの取り付け方法

- リモコン底面にマジックテープのやわらかいほうを貼ります。
- 取り付け位置 (コンソールボックス等) にマジックテープのざらざらしたほうを貼ります。



警告

- エアバッグの近くにリモコンを取り付けない。不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故・ケガの原因になります。
- ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には、取り付けない。事故・ケガの原因になります。

3. 確認する

1 コード類を固定する。



注意

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

2 バッテリーの端子を接続する。

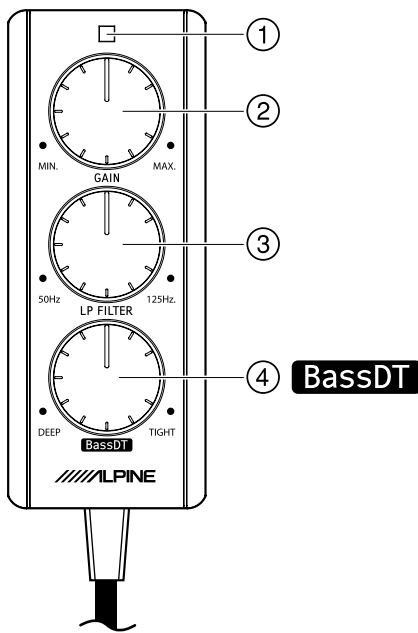
3 エンジンキー／カーオーディオ電源を ON にして、本機の動作が正しいこと (音が正しく出ているかなど) を確認する。

4 ホーン／ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

4. 調整する

●過大入力に注意

音が歪 (ひず) んだり、異音 (ポコポコ、ペコペコという音) が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。(過大入力)
スピーカーに過大入力続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。過大入力にならない範囲でご使用ください。



- ① パワーインジケーター : 電源 ON で点灯します。
- ② 入力感度調整ボリューム (GAIN) : 音の大きさを調整するノブです。MIN にすることで小さく、MAX にすることで大きくなります。
- ③ ローパスフィルター周波数切替 (LP FILTER) : 音の再生帯域を調整するノブです。他のスピーカーとのバランスを調整することができます。
- ④ 音質調整 (BassDT) : 音の質感を調整するノブです。DEEP にすることでゆたかで響くような低音、TIGHT にすることでひきしまったスピード感のある低音にすることができます。

●アルパインが推奨する調整方法

- ① 入力感度調整ボリューム (GAIN) を MIN、③ ローパスフィルター周波数切替 (LP FILTER) をセンター、④ 音質調整 (BassDT) をセンターに設定してからシステムの電源をオンにする。
- ② ヘッドユニットなどの TREBLE、BASS をセンターの状態にして、音量を普段聴いている大きさにする。
この時の音楽ソースとしては、普段聴いているものを使うと調整がやりやすいでしょう。
- ② 入力感度調整ボリューム (GAIN) を MIN からゆっくり回し、システム全体でバランスがとれる位置まで②入力感度調整ボリューム (GAIN) を調整する。
入力感度を上げすぎると音が歪むときがあります。また、ヘッドユニットの音量が大きくと音が歪むときがあります。
他のスピーカーからも歪みが出ていないか確認しながら調整を行ってください。
スピーカーシステム全体が歪んでいるような場合は、ヘッドユニットの音量を小さくしてください。
- ③ ローパスフィルター周波数切替 (LP FILTER) を調整し、他のスピーカーとのバランスが最良となるポイントに調整する。
- ④ 音質調整 (BassDT) を回し、音質を調整する。
ひきしまったスピード感のある低音が欲しい場合は TIGHT、ゆたかで響くような低音が欲しい場合は DEEP に設定します。
一般的に、広い室内を持つ車 (ミニバン、SUV) では TIGHT、狭い室内を持つ車 (コンパクトカー、セダン) では DEEP に調整すると良い低音が得られます。
- ⑥ LP FILTER や BASS の設定が変化すると、音量も聴感上変化します。手順 3、4、5 を繰り返し行い、最良のポイントに調整する。